DB update & delete

Contents

- webの仕組み(復習)
- DB接続の関数化
- PHPからDB操作
 - 更新
 - 削除
- 課題発表 -> P2Pタイム

rules...

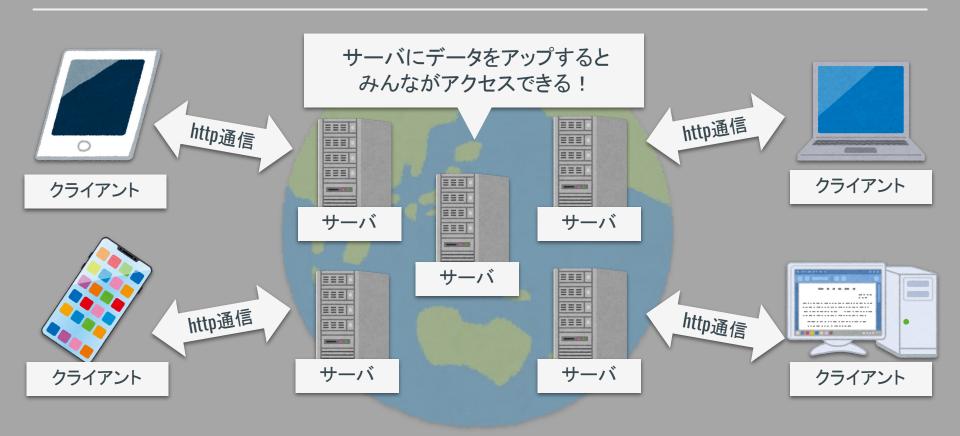
- 授業中は常にエディタを起動!
- 考えたことや感じたことはslackのガヤチャンネルでガンガン発信!
- 質問はslackへ! 他の人の質問にも目を通そう!(同じ質問があるかも)
- 演習時. できた人はスクショなどslackに貼ってアウトプット!
- まずは打ち間違いを疑おう!
 - {}'";など
- 書いたら保存しよう!(よく忘れる!)
 - command + s
 - ctrl + s

Goal

- CRUD処理の完成!
- 共通のコードを利用する!
- webサービスの構想を練る!

webの仕組み

雑なwebの仕組み

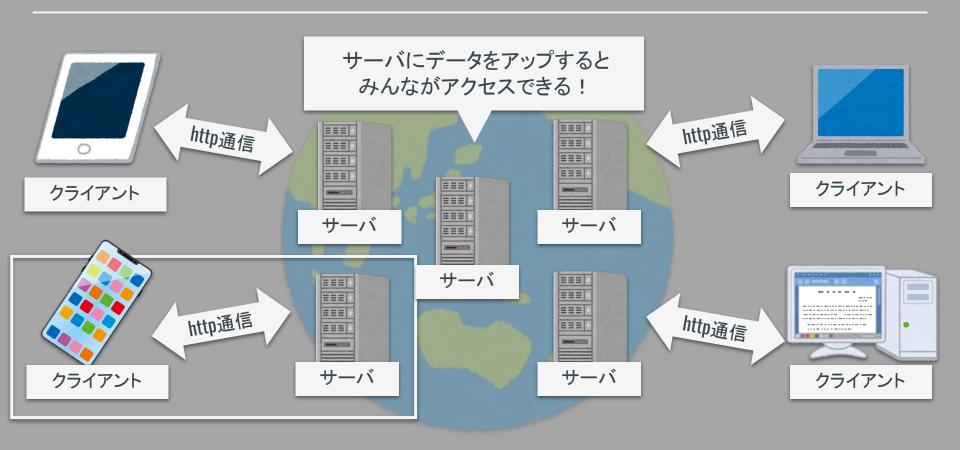


URL

- URLとは
 - web上にある情報(ファイル)の場所を指し示す住所.
 - Uniform Resource Locatorの略(覚えなくてOK).
- 例



雑なwebの仕組み



サーバとクライアント

- サーバで動作する言語(サーバサイド)
 - サーバ上でプログラムが実行される.
 - PHP, ruby, python, JAVA, (node.js), etc...
- クライアント(webブラウザ)で動作する言語(クライアントサイド)
 - webブラウザがプログラムを実行する.
 - html, css, javascript

サーバ - クライアント型のアプリケーション

サーバサイド言語の動き方

※ 言語によらず、ファイル(プログラム)はサーバ上に存在



送られてきたhtmlを実行



- 処理した結果のデータ

- 構成したhtml



クライアントサイド言語の動き方

※ 言語によらず、ファイル(プログラム)はサーバ上に存在



送られてきたhtmlを実行

- こういう情報がほしい
- こういう処理をしたい 例:index.htmlにアクセス

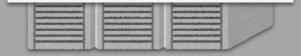
http通信

http通信

- リクエストした html
- データを返すだけ!!



index.html ファイル(の中身)を送信 処理は実行しない!



JavaScriptもこのタイミングで実行!!

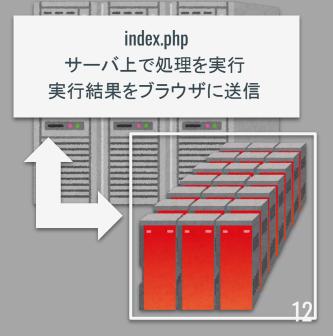
DBの動き方

サーバ上のプログラム(PHPなど)がDBにアクセスして処理を実行!

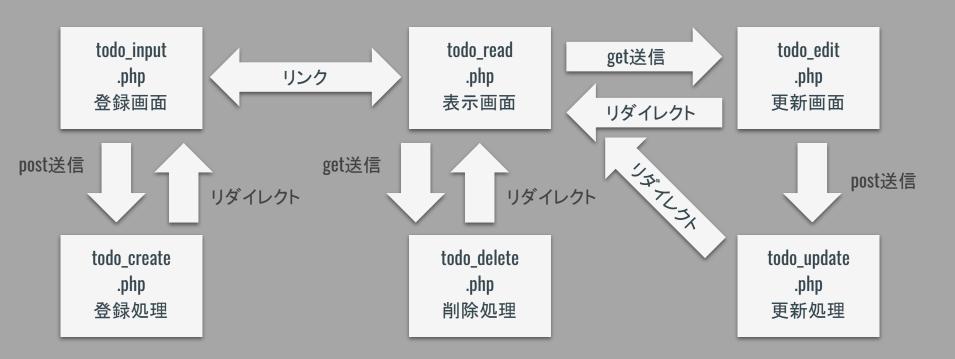


送られてきたhtmlを実行

- こういう情報がほしい
 こういう処理をしたい
 例: index.phpにアクセス
 http通信
 - 処理した結果のデータ
 - 構成したhtml



todoアプリの全体像



データ更新の前に...

DB接続は常に同じコード..!

実は...

- todo_input.phpとtodo_read.phpで記述したDB接続のコードは全く同じ!
- 今回作成するtodo_edit.php, todo_update.php, todo_delete.phpも同じ記述!

であれば..!

- 一つの関数にまとめられる!
- 関数用のファイルを作成しよう!(functions.php)

DBに接続する関数を定義!(functions.php)

```
// 関数の定義
function connect_to_db(){ // DB名は自分で設定したものを使用する!
 $dbn='mysql:dbname=YOUR_DB_NAME;charset=utf8;
         port=3306;host=localhost';
 |$user = 'root';
 $pwd = '';
 try {
     return new PDO($dbn, $user, $pwd);
 } catch (PDOException $e) {
     exit('dbError:'.$e->getMessage());
```

DBに接続する関数を定義!(functions.php)

```
// 呼び出し (todo_create.php, todo_read.php, など)
include('functions.php'); // 関数を記述したファイルの読み込み
$pdo = connect_to_db();
                           // 関数実行
// 他のDB接続が必要なファイルでも上記の2行でOK!
```

DB接続関数を定義して使おう!

- functions.phpにDB接続の関数を定義しよう!
- todo_create.phpとtodo_read.phpでfunctions.phpをinclude()し, 関数を実行しよう!

今まで通りの動きが確認できればOK!

(これまでやっていた処理を関数にしただけなので、やっていることは一緒)

PHPからDB操作

データ更新処理 (Update)

SQL構文: UPDATE (データ更新)

```
-- UPDATE文の基本構造
UPDATE テーブル名 SET 変更データ WHERE 選択データ;
-- 例
UPDATE gs_table SET name='gs99' WHERE id = 1;
  【重要】必ずWHEREを使用!! (忘れると全てのデータが更新されます..!)
```

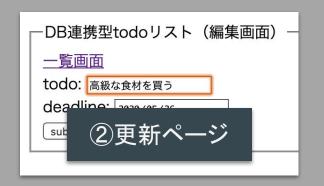
データ更新処理

更新処理の流れ(登録処理と似ています!)

- ① 一覧画面に更新ページへのリンクを作成
 - urlにidを追加: todo_edit.php?id=**
- ② 更新ページの作成(todo_edit.php)
- ③ 更新処理の作成(todo_update.php)
- 4 一覧画面に戻る







①一覧画面に更新ページへのリンクを追加(read.php)

```
foreach ($result as $record) {
 $output .= "";
 $output .= "{$record["deadline"]}";
 $output .= "{$record["todo"]}";
 // edit deleteリンクを追加
 Soutput .= "
         <a href='todo_edit.php?id={$record["id"]}'>edit</a>
         ":
 $output .= "
         <a href='todo_delete.php?id={$record["id"]}'>delete</a>
         ":
 $output .= "";
```

①動作確認(一覧画面)

DB連携型todoリスト(一覧画面)

<u>入力画面</u>

deadline todo

2020-05-26 食材を買う edit delete

2020-05-27 お酒を買う edit delete

editボタンにカーソルを載せて「?id=**」になればOK!

localhost/php_tutorial/php03/php03_comp/todo_edit.php?id=1

②更新ページを作成(todo_edit.php)

```
// 関数ファイル読み込み
include("functions.php");
// 送信されたidをgetで受け取る
                                該当のデータを取得するため
$id = $_GET['id'];
                                   idでDBを検索する!
// DB接続&id名でテーブルから検索
$pdo = connect_to_db();
$sql = 'SELECT * FROM todo_table WHERE id=:id';
$stmt = $pdo->prepare($sql);
$stmt->bindValue(':id', $id, PDO::PARAM_INT);
$status = $stmt->execute();
```

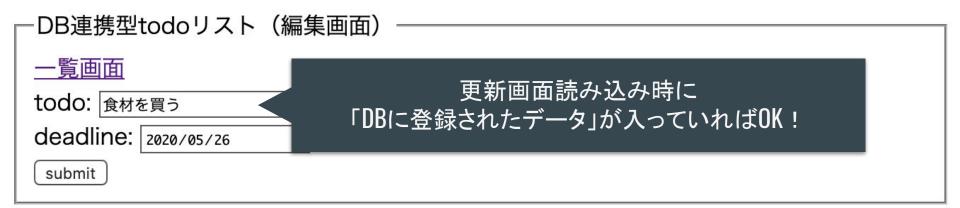
②更新ページを作成(todo_edit.php)

```
// fetch()で1レコード取得できる.
if ($status == false) {
  $error = $stmt->errorInfo();
  echo json_encode(["error_msg" => "{\$error[2]}"]);
  exit();
 else {
  $record = $stmt->fetch(PD0::FETCH_ASSOC);
// htmlのタグに初期値として設定
<input type="text" name="todo" value="<?= $record["todo"] ?>">
<input type="date" name="deadline" value="<?= $record["deadline"]</pre>
```

②更新ページを作成(todo_edit.php)

```
// idを見えないように送る
// input type="hidden"を使用する!
// form内に以下を追加
<input type="hidden" name="id" value="<?=$record['id']?>">
// 更新のformは、登録と同じくpostで各値を送信しています!
```

②動作確認(編集画面)



③更新処理を作成 ④リダイレクト(todo_update.php)

```
// 各値をpostで受け取る
$id = $_POST['id'];
// idを指定して更新するSQLを作成(UPDATE文)
$sql = "UPDATE todo_table SET todo=:todo, deadline=:deadline,
          updated_at=sysdate() WHERE id=:id";
$stmt = $pdo->prepare($sql);
$stmt->bindValue(':todo', $todo, PDO::PARAM_STR);
$stmt->bindValue(':deadline', $deadline, PDO::PARAM_STR);
$stmt->bindValue(':id', $id, PDO::PARAM_INT);
$status = $stmt->execute();
```

③更新処理を作成 ④リダイレクト(todo_update.php)

```
// 各値をpostで受け取る
if ($status == false) {
 // SQL実行に失敗した場合はここでエラーを出力し、以降の処理を中止する
 $error = $stmt->errorInfo();
 echo json_encode(["error_msg" => "{\$error[2]}"]);
 exit():
 else ·
 // 正常に実行された場合は一覧ページファイルに移動し、処理を実行する
 header("Location:todo_read.php");
 exit();
```

更新処理を実装しよう

以下の処理を実装!

- 一覧画面にtodo_edit.phpへのリンクを追加!(todo_delete.phpも一緒に!)
- todo_edit.phpではデータをIDで検索し, 該当するデータを表示!
- todo_update.phpでは入力したデータでUPDATE!
- 完了したらtodo_read.phpへ戻る.

更新処理実行後、一覧ページでデータが更新されていればOK!

(phpmyadminでも確認しよう)

データ削除処理 (Delete)

SQL構文: DELETE (データ削除)

```
// DELETE文の基本構造
DELETE FROM テーブル名:
// 例
DELETE FROM gs_table;
                                  -- 全消去
DELETE FROM gs_table WHERE id = 2;
                                  -- 指定データのみ
// WHEREで指定しないとテーブルのデータが全滅する!!
// DELETEすると復旧できないので注意!!
```

削除処理

削除処理の流れ

- 済① 一覧画面に削除ページへのリンクを作成
 - urlにidを追加todo_delete.php?id=**
- ②削除処理の作成(todo_delete.php)
- ③一覧画面に戻る





②削除処理を作成 ③リダイレクト(todo_delete.php)

```
// idをgetで受け取る
$id = $_GET['id'];
// idを指定して更新するSQLを作成 -> 実行の処理
$sql = 'DELETE FROM todo_table WHERE id=:id';
// 一覧画面にリダイレクト
header('Location:todo_read.php');
```

動作確認(削除処理)

DB連携型todoリスト(一覧画面)

入力画面

deadline todo

2020-05-26 食材を買う edit delete

deleteクリックでデータが消えればOK!

更新処理を実装しよう

以下の処理を実装!

- 【済】一覧画面にtodo_delete.phpへのリンクを追加!
- todo_delete.phpではデータをIDで検索し,該当するデータを削除!
- 完了したらtodo_read.phpへ戻る.

削除処理実行後,一覧ページでデータが削除されていればOK!

(phpmyadminでも確認しよう)

課題

【課題1]DB連携アプリ(更新処理/削除処理)

前回の課題に機能追加!

- 下記ファイル(処理)を追加しよう!
 - 表示処理 <- 更新画面へのリンクなど追加
 - 更新画面
 - 更新処理
 - 削除処理

もちろん新しいアイデアで作り直してもOK!

そろそろwebアプリケーションの全体(卒制含め)が実装できるぞッ!

※そろそろ作り始めないとキツイ..!

【課題2】ユーザ管理機能の作成

ユーザ管理テーブル(<-必ず作成, DBはこれまでのものを使用)

- テーブル名: users_table
- カラム名など

#	名前	データ型	照合順序	属性	NULL	デフォルト値	コメント	その他	操作	
1	id 🔑	int(12)			いいえ	なし		AUTO_INCREMENT	🥜 変更 🥥 削除 🔻	その他
2	username	varchar(128)	utf8mb4_unicode_ci		いいえ	なし			🧷 変更 🥥 削除 🔻	その他
3	password	varchar(128)	utf8mb4_unicode_ci		いいえ	なし			🥜 変更 🥥 削除 🔻	その他
4	is_admin	int(1)			いいえ	なし			🧷 変更 🥥 削除 🔻	その他
5	is_deleted	int(1)			いいえ	なし			🥜 変更 🥥 削除 🔻	その他
6	created_at	datetime			いいえ	なし			🧷 変更 🥥 削除 🔻	その他
7	updated_at	datetime			いいえ	なし			🧷 変更 🥥 削除 ▼	その他

【課題2】ユーザ管理機能の作成

前スライドでつくったユーザのデータを管理する処理を実装!

- ユーザ作成処理
- ユーザー覧参照&表示処理
- ユーザデータ更新処理
- ユーザデータ削除処理
- (サービス管理者がユーザのデータを操作するイメージ)

課題1と課題2はそれぞれ独立でOK!

締切は次回授業前木曜「23:59:59」

P2Pタイム

まずはチーム内で解決を目指す!

訊かれた人は苦し紛れでも応える!!